R８－１０回覧

松本市立波田小学校　学校だより　令和８年１０月２１日

まつかぜ No. 7

稲穂が頭を垂れ、豊かな実りの季節を迎えました

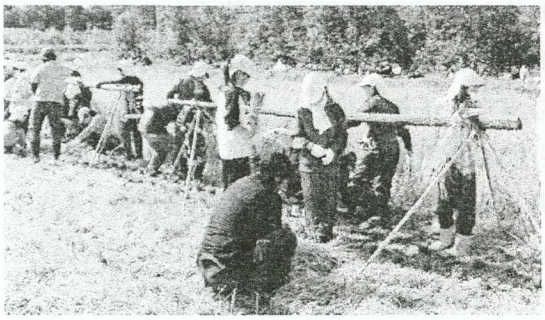


気持ちのよい秋晴れの日が続き、子どもたちの元気な声が澄み渡る空に響いています。休み時間には夢中になって仲間と遊んだり、わくわくしながら虫探しをしたりする姿があります。そして、放送委員から休み時間の終わりを告げるアナウンスが流れると、一目散に昇降口に向かって駆け出す頼もしい姿があり、人とつながる喜びを感じながら自らを高めているように思います。子どもたちも秋の深まりとともに、これまでの学びや体験をしっかりと自分の糧とし、たくましく成長しています。

５年　稲刈り　９/２４(木)

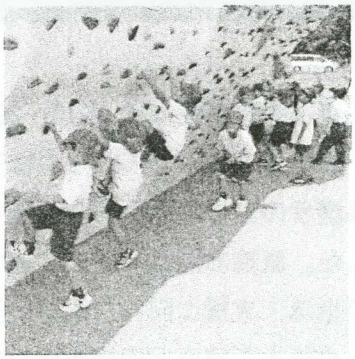
５月に自分たちが植えた稲が豊かに実り、収穫の時を迎えました。田んぼを貸していただいている太田さんやＪＡ松本ハイランド波田支所のみなさんに協力していただいての稲刈りです。



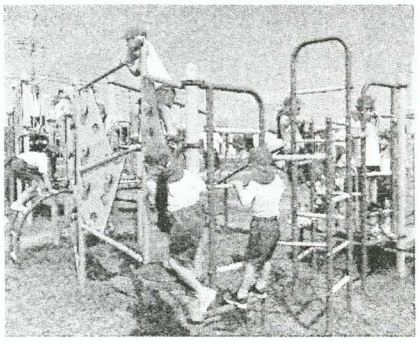


子どもたちは地面に落としたお米を踏まないよう足元に気を配りながら刈り取った稲を束ねて「はぜかけ」を行いました。米づくりの大変さやお米を当たり前のように食べられることのありがたさを実感していました。

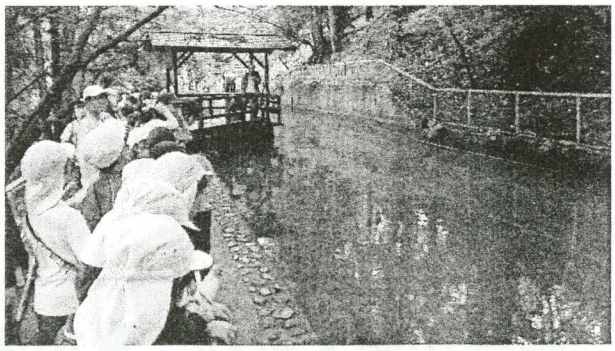
１年　生活科遠足　９/２５(金)



みんなで車窓からの景色を楽しみながら森口駅まで行き、そこから歩いて扇子田公園に到着しました。いろんなクラスの友だちと遊具で自由に遊んだり、学年全員で「しっぽとり」をしたり、おしゃべりしながら嬉しそうにお弁当を食べたりしました。初めての遠足でしたが、ルールを守って行動し、楽しむところは楽しむといったメリハリのある成長した姿が見られました。



４年　波田せぎ見学　９/１７（木）・２９（火）

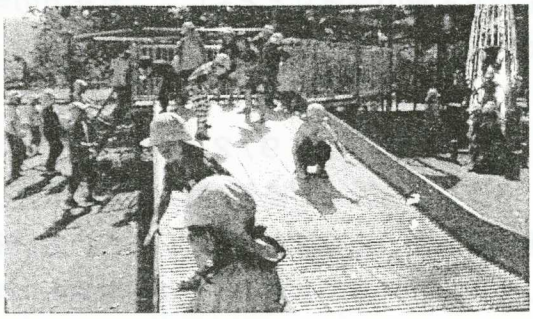


社会科の地域教材として学んできた「波多腰六左と波田せぎ」の集大成として、せぎ周辺を巡るフィールドワークを行いました。親水公園では、はるか先の竜島温泉付近から引き込まれている水流を観察しながら、遠くから水を運ぶために人力でせぎを掘り進めた大変な作業に思いを馳せていました。そして、せせらぎの流れにそって水神社までの道のりを歩きながら、増水や水漏れを心配する地域の人々の反対の声があっても信念を貫いた波多腰六左の生き様を感じ取っているようでした。

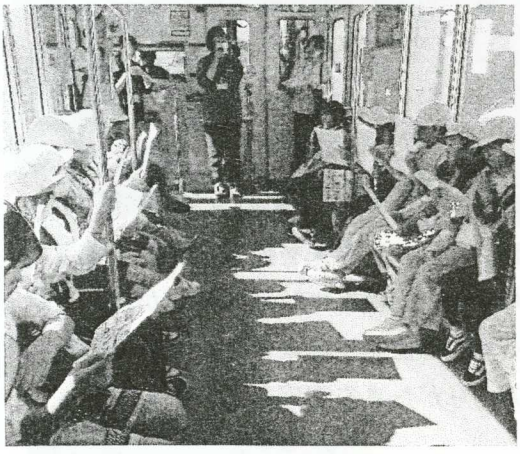


最後に水神社へ着くと、眼下には200町歩の広大な田園風景が広がっていました。かつて「この地に豊かな実りをもたらしたい」と願った人々の熱意が今も豊かな大地として残っていることと、私財を投じて波田の農業のために尽力した波多腰六左の功績を改めて感じ取りながら帰路につきました。

２年　生活科遠足　１０/２（金）

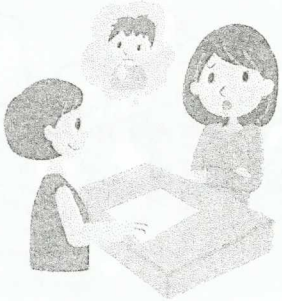


上高地線で松本駅まで行き、篠ノ井線に乗り換えてから平田駅までの間、友だちと公共交通機関を使って移動することを楽しみながらマナーもしっかり守れていました。お待ちかねの芳川公園に着くと、広場や遊具で思いっきり身体を動かす元気な２年生。お弁当でパワーを補給してから帰りの電車に乗り込みました。松本駅ではアルピコ交通と松本市役所の方にサポートしていただきながら、各自で降りる駅までの乗車券を券売機で購入し、貸し切り電車で戻ってきました。車内で教えていただいた乗り方やマナーを、次の移動にいかしてくださいね。



保護者懇談会（10月13～20日）へのご出席ありがとうございました。

クラスでの子どもたちの様子をお伝えするとともに、ご家庭での様子や保護者の皆様の思いをお聞きすることができ、大変有意義な時間となりました。直接お話しできたことで、子どもたちへの理解がより深まり、今後の指導・支援に向けた温かい糧となりました。



今後もご家庭と連携を深めながら、子どもたちが安心して充実した学校生活を送れるよう、教職員一丸となって努めてまいります。気になることやご相談がございましたら、いつでもお気軽にご連絡ください。

引き続き、温かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。